



ふうせん なか なに はい  
風船の中には何が入っているの

そらたか あ ふうせん  
空高く上がる風船

まつ  
お祭りのときやデパートなどで、ふうせん  
をくれることがありますね。うっかりして手から  
はなすと、たちまちそらたか  
空高くのぼっていきます。

ふうせん なか  
風船の中にヘリウムガス

ふうせん なか  
風船の中には、ヘリウムガスが入れてあります。ヘリウムはすべての物質の中で水素の次  
ばんめ かる いろ きたい  
に二番目に軽く、色やにおいのない気体です。ヘリウムは水素とちがって、火を近づけても  
も  
燃えないので安全です。

かる きたい  
軽い気体なので、いろいろな気体とまざりやすく、空気中にもれても、すぐに広がる性  
しつ  
質をもっています。

ふうせん いえ かえ にちお くうちゅう う  
風船を家にもって帰って1日置くと、空中に浮かなくなることがあるでしょう。これは  
ふうせん め み ちい あな だ  
風船にある目に見えない小さな穴から、ヘリウムがにげ出してしまったからです。

きしょうかんそく つか すいそ ききゅう かんそく  
また、気象観測に使うラジオゾンデは、水素をつめた気球にパラシュートをつけて観測  
きき  
機器をつりさげたものです。

すいそ ききゅう かる そらたか あ じょうくう きあつ ひく  
水素の気球は軽いので空高く上がり、上空で気圧が低くなるにつれふくらんできます。  
ちじょうやく じょうくう ひら お  
そして、地上約20キロメートル上空ではれつし、パラシュートが開いて落ちてきます。  
こうして、ラジオゾンデを回収するのです。(監修 小川 格)

